

【実験動物センター 新型コロナウイルス感染症対策につきまして№12】

緊急事態宣言下（2021年4月）における研究活動について学内メールにて通知がされました。当センターでも研究活動制限（レベル2）での対応となりますのでお知らせいたします。引き続き、感染予防策を講じた上での研究活動を進めていただけますようお願いいたします。

【レベル2】

- ・繁殖ケージの見直し・確認（飼育数の適正化）
- ・実験計画の見直し・確認（可能な限り新たな計画は原則延期）

《利用にあたっての注意事項》

- 更なる研究制限が発信される可能性があることを踏まえて計画的に利用して下さい。
- 実験室・飼育室を利用される際は、「三つの密」を避けるための計画、施設利用スケジュール等を構築し、施設内での密を避けつつ、短時間の実験を継続する等の対策を講じて下さい。
*20時以降の研究活動についても抑制するなど対策に努めて下さい
- 定期的な観察については、引き続き利用者各自で行って下さい。
 - ・一般状態観察（個体情報・収容場所・ケージ数・匹数・表示内容等の確認）
 - ・繁殖ケージの管理（妊娠・出産個体の分巢、過密飼育、個体識別処置に伴う止血処置など）
 - ・実験処置個体の経過観察（麻酔後の覚醒や外科的処置の術後管理など）

《センター業務に関する周知事項》

- 全飼養保管施設のケージ交換は、各飼養保管施設にスケジュールを掲示します
- お問い合わせは、可能な限りメールまたは電話にて業務時間内をお願いします。
 - ・事務手続き：arcenter.arc@tmd.ac.jp（内線：5787）
 - ・その他：info.arc@tmd.ac.jp

参照

緊急事態宣言時における実験動物センター管理事務室 対応表

<http://www.tmd-cea.jp/ceav2/wp-content/uploads/2021/04/3c053592c6d3a8fe52d678dfdb22427d.pdf>

(本件連絡先)

実験動物センター・管理事務室
内線：5785

e-mail:info.arc@cmn.tmd.ac.jp

HP:<http://www.tmd-cea.jp/>